



三春町職員採用 Q&A

Q1 町村は県や市と比べて職員数が少ないですが、働く中で感じるメリットやデメリットはありますか？ また、職員数が少ない一方で、行政への要望は複雑化・高度化していますが、三春町ではどのように対応していますか？

A1 職員数が少ない分、職員一人ひとりが果たすべき役割は大きくなりますが、職員同士の距離が近い
ため、職場の雰囲気はアットホームで、組織としてのまとまりも強いと思います。
また、町立病院や保育所をはじめとする町の施設の一部で指定管理者制度を導入し、施設の管理に
民間のノウハウを活用するなどして、少ない職員数でもサービスの質を落とすことなく効率的な行政
運営を行っています。

Q2 研修にはどのようなものがありますか？

A2 三春町では、少しでも早く職場の雰囲気に慣れて、新しい戦力となっていただきたいという思いか
ら、例年、採用内定者を対象に、入庁前（1～2月頃）に事前オリエンテーションを実施しています。
町長等の特別職との懇談会を設け、希望の部署ややってみたい仕事などを直接話せる機会があります。
同期が初めて顔を合わせ交流する機会にもなっています。4月1日から安心して職場にとけこんでい
ける態勢を整えています。

また、4月～5月と10月～11月の2回（各4泊5日）、ふくしま自治研修センターで、他自治
体の新規採用者と合同の新規採用職員研に派遣し、公務員として働く上で必要な事柄について学んで
いただく予定です。

6月頃には、役場内で3日間の新人研修を行います。各課の課長等が講師となり、役場全般のこと
について学んでいただくほか、町内の様々な施設の見学や体験研修もあります。

さらには、自治大学校（東京都立川市）や市町村アカデミー（千葉県千葉市）等の中央で行われる
高度な研修にも積極的に派遣し、最新の知識や技術の獲得や、全国の自治体職員との交流を図れる環
境を整えています。

そのほか、通信教育やスクーリング、資格取得等の自己啓発研修に係る受講料等の費用の一部を補
助する制度も設けています。

Q3 採用の際、新卒でないとなりに不利になりますか？

A3 採用試験の受験資格を満たしていれば、学歴や職歴の有無等は一切関係ありません。前職のある人
を含め、既卒で入職している職員はたくさんいます。これまで培ってこられたさまざまな経験をぜひ
三春のまちづくりに生かしてほしいと考えています。

Q4 新人職員はどのような職場に配属されますか？また、採用後の人事異動はどの

ように行われますか？

A4 特定の部署に限って新人職員を配属するということはありません。事前オリエンテーションでの希望や経験等を参考にして配属をきめています。参考として、今年度の新規採用職員は、町の重要な窓口ともいえる税務課、子どもからお年寄りまでの健康や福祉を担当する保健福祉課、町の観光やPRを担当する産業課、町の重要な自治や安全を担当する総務課といった、様々な部署に配属となりました。

採用後の人事異動については、職員本人が希望の異動先等を申告できる「自己申告制度」を設けています。その内容を参考に、本人の勤務実績、能力、資質などを考慮し、適材適所の人員配置に努めています。

Q5 女性職員の割合はどれくらいですか？また、結婚・出産後も働き続ける女性は

どれくらいいますか？

A5 全職員中、女性職員の割合は半分です。三春町に限らず、町村全体に言えることですが、結婚してから出産・育児に至るまでフォローするための休暇制度が充実しており、三春町ではほとんどの職員が結婚、出産後も働き続けています。

また、女性だけでなく、男性が積極的に育児に関わるために、男性職員自身の育児参加も推進しており、休暇や休業の取得も積極的に勧めています。

Q6 職員住宅はありますか？

A6 職員専用の住宅はありませんが、単身向けの町営住宅があり、民間アパートよりも家賃がお手頃です。

Q7 部活動のようなものはありますか？

A7 スポーツに親しむ三春町らしい、野球部、ソフトボール部、ボート部の3つのスポーツ系があります。ボート部は三春町内にあるダム湖の「さくら湖」で練習をしています。ボート部のある役所は非常にめずらしいです。

また、部活動を通じて、他部署の職員とより密接な横のつながりを築くこともできます。